

1. 手術室の具体的な目標と評価

1) 安全で質の高い手術看護を提供する

周術期看護向上への取り組みとして患者訪問を行い、術前訪問 38%、術後訪問 10%、PFM 訪問は 100%の実施率となった。アセスメント能力の向上を目指し、術前・術後訪問がどのように術中看護に活かされているか、事例検討を 2 回実施した。さらに看護観やアセスメントをスタッフ間で共有するため、看護を語る会を 4 回実施した。開催後は自己の看護観が明確となり、思考過程を整理することに繋がっている。ペアナースとの情報共有では、ハイリスク患者を中心とし多職種でミニカンファレンスを開催したことにより、患者にとっても安全で安心な看護に繋がっている。引き続きペアで思考過程を伝え合いながら、質の高い看護の提供に繋げていけるよう取り組んでいく。OJT では、器械出し技術の実施や腰椎麻酔時の看護等、理解度を確認しながら細かな指導が行っている。指導者によって指導技術の習得に差が生じることのないよう引き続き実施・評価していく。

2) 病院経営に参画する

SPD 管理における衛生材料の見直しでは、使用頻度の低い物品を確認し、SPD・各科 Dr と連携をとりながら定期的な見直しをした。その結果死蔵品はゼロとなり、定数品削減額は年間約 126 万円となった。SPD シールの紛失防止については、リサイクルからディスプレイ使用へ全て変更したことにより、前年度 19 件から紛失は 33 件に増加した。また、手術器具の管理について、OP 件数 2198 件に対し紛失器械件数 13 件で紛失率は 0.59%となっている。使用前後の確認を徹底し、SPD シール、器械の紛失予防だけでなく、器械類の不備や破損の早期発見にも努めていく。引き続き一人一人の意識改善に働きかけ、今後も対策を継続しコスト漏れ防止に努めていく。

3) 患者の視点に立った医療安全を推進する

3b インシデントが 1 件発生したため、ImSAFER を用いて事例分析を行ない背後要因を明らかにした。マニュアルの改定だけに目を向けるのではなく、日頃行っている手術看護についても振り返り話し合うことが出来た。インシデントの総数は 30 件で昨年度の 42 件と比較し約 3 割減少している。また、術中皮膚トラブルは昨年度 15 件から 7 件へ減少した。褥瘡ファイルでの情報周知や、皮膚保護剤の使用が定着してきたこと、また長時間手術ではゲルクッション等の適切な使用ができてきている結果だと考える。

引き続き医療チーム全体で確認し合えるような職場風土作りを目指し再発防止に努めていく。

4) 専門職としての能力開発に努める

新人看護師の育成では、自己の課題や達成度、ステップアップの指標を教育パス 1 枚で確認できるよう変更したことにより、スタッフ全員でフォローし合える体制となり、偏りなく知識技術が習得できている。若年層スタッフ(4 年目まで)については、各看護師の年間目標を設定し、目標に向けて日々の手術をステップアップしていけるよう取り組んだ。自己の課題の明確化が出来ていないため、次年度は評価表を用いて他者評価を行い、自己実現出来るよう取り組んでいく。院外研修では倫理研修、教育研修、整形外科や循環器など専門性強化のための研修等、また手術に関連する Web 研修にも積極的に参加し、最新の情報を得ながら知識の向上に努めている。

5) 活気ある職場作りの推進

手術予定に応じて日々勤務調整を行い、時間外労働が最小限になるよう調整し、拘束帯における労働時間についても 36 協定越えはなく遵守できている。休暇取得は年間予定に沿って取得できおり、長時間勤務後の年休取得も申請しやすい職場風土となっている。6S 活動では、前期に気持ち良い挨拶が出来るよう取り組んだ。後期は身だしなみチェックを行い、12%のスタッフへ指導を行った。今後も定期的に身だしなみを確認し改善に繋げ、習慣化できるよう取り組んでいく。

2. 看護体制

表 1 令和 4 年度看護体制

配置人数(人)	看護方式	夜勤体制
看護師 31 名(本館 30 名・西棟 1 名) アシスタント 1 名 クレーク 1 名	固定チームナーシング	拘束勤務者:3 名 遅出勤務者:2 名 ※時間外手術は拘束者と遅出勤務者で対応する

3. 手術統計

(件)

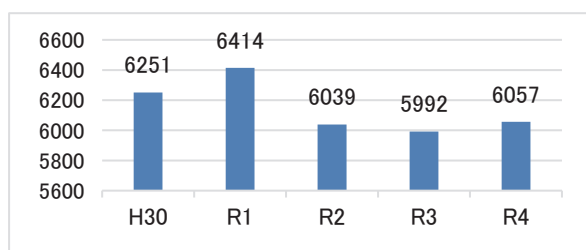


図 1 手術件数の推移

(件)

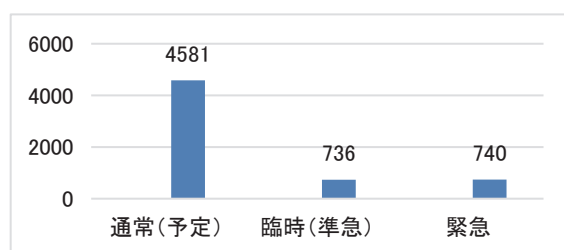


図 2 令和 4 年度 申し込み区分別手術件数

表 2 令和 4 年度 診療科別手術件数

(件)

	外科	心外	呼外	児外	整形	脳外	産婦	泌尿	眼科	耳鼻	皮膚	形成	麻酔	他
令 2 年	866	367	167	569	1866	85	204	518	668	237	209	264	3	16
令 3 年	771	306	155	545	1815	66	213	572	723	285	251	262	6	22
令 4 年	893	258	145	531	1733	69	222	575	814	312	205	263	10	27

(件)

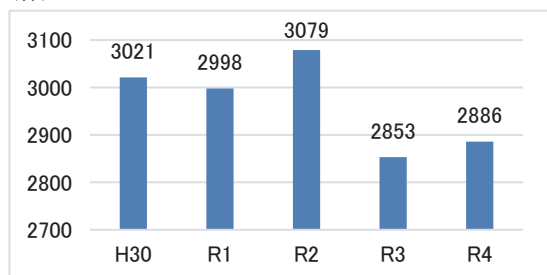


図 3 麻酔科管理手術件数

(件)

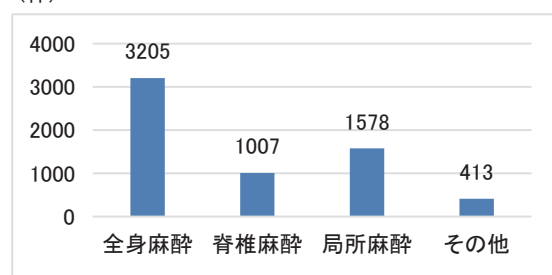


図 4 令和 4 年度 実施手術麻酔区分